

照明技術賞

最優秀照明賞	劇映画部門	うなぎ(衛星劇場・ケイ・エス・エス・今村プロ)	担当	岩木 保夫
最優秀照明賞	TVドラマ部門	町(株式会社フジテレビジョン)	担当	本間 利明
最優秀照明賞	CM部門	東京デジタルホン(株式会社ザないん)	担当	木村 太朗
優秀照明賞	TVドラマ部門	用心棒日月抄「待っていた女」(東映㈱京都撮影所)	担当	安藤 清人
優秀照明賞	TVドラマ部門	土曜ドラマ「もうひとつの心臓」(日本放送協会)	担当	中山 鎮雄
審査委員特別賞	劇映画部門	愛する(日活)	担当	島田 忠昭
新人賞	劇映画部門	失楽園(角川書店・東映・日本出版販売・三井物産・エースピクチャーズ)	担当	小野 晃
新人賞	TVドラマ部門	新花へんろ(日本放送協会)	担当	住吉 宏貴
新人賞	産業教育記録映画部門	こどもにんぎょう劇場(小さな魔女)	担当	寺田 博
第21回協会賞	永年(40年)勤続	三上 鴻平 酒匂 正弘 小熊 良洋 大澤 暉男 蝶谷 幸士 山口 利雄 本間 利明 橋本 英一 神田 茂生 永田 鎮男 藤田 弘道 渡辺 恒一(週刊毛利ライティングニュース記者代表)		
第7回伊藤幸夫賞				

最優秀照明賞 劇映画部門 うなぎ

岩木保夫



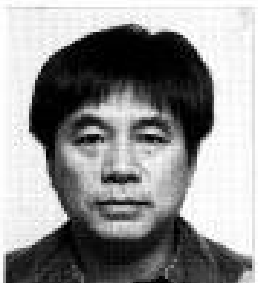
昭和2年10月12日生
昭和21年大映株式会社京都撮影所
技術部照明係入社 昭和28年社員技
師として第1回作「酔いどれ二刀流」
担当 昭和29年日活㈱契約技師とし
て入社、46年フリーとなり今日に至
る。

主な作品 警察日記 にっぽん昆虫記 楢山節考 黒い雨 等多
数

選定理由：佐原の水辺に少ない照明から創り出されたナイト
トシーンは緊張感がありほのかな暖かみを感じさせ照明の
極意を表しました。その技術は後輩の模範となり、高く評
価されました。

最優秀照明賞 テレビドラマ部門 町

本間利明



昭和13年4月15日生
昭和32年松崎照明研究所に入社
昭和35年 フジテレビジョン照明班
に入社 39年ドラマのLD 現在に
至る。
主な作品歴 Oの焦点 がしんたれ
三匹の侍 男はつらいよ 花紋 砂

最優秀照明賞 CM部門 東京デジタルホン

木村太朗



昭和24年8月23日生
昭和54年森田芳光監督「の、よう
なもの」で照明技師として第1回作
担当、以来TVコマーシャル等で主
に活動、最近作に「鮫肌男と桃尻女
98」「ビューティフルサンダー」等 コ
マーシャル多数

選定理由：東京デジタルホン「全国エリア」四部作から成
る作品で一定してトーンが統一され現代の若者の生活がか
いまみる事が出来るCMに上っており現在の世相にマッチ
したCMに仕上っており高い評価を得ました。

優秀照明賞 テレビドラマ部門

用心棒日月抄
「待っていた女」



安藤清人

昭和21年12月7日生
昭和41年大映京都撮影所入社 昭和47年東映京都撮影所入社現在に至る。

主な作品 コータローまかりとおる
二代目はクリスチャン 極道の妻たち わが心の銀河鉄道宮沢賢治物語

等多数 TV平清盛 乾いて候 伊達政宗等

選定理由：黒を基調とした照明技術は風格を備え完成度が高く時代劇作品に厚みを与え作品に大きく貢献している。

新人賞 テレビドラマ部門

新花へんろ



住吉宏貴

昭和43年1月15日生
平成元年NHKテクニカルサービスハイビジョン事業部番組制作部照明入社。
平成9年新銀河ドラマ「おんなは全力疾走」でドラマLDを担当、現在にいたる。

選定理由：長い戦争で荒廃し何もかもなくなった日本、その時代を臭はせながらという難題を良く表現している。たゆまぬ製作意欲と巧みな技術は評価が高く十分に新人の域を越えている。

優秀照明賞 テレビドラマ部門

土曜ドラマ
「もうひとつの心臓」



中山鎮雄

昭和27年4月9日生
昭和46年4月NHKに入局、制作技術照明に配属され現在に至る。担当作品に水曜ドラマ「びいどろで候」ドラマ「結婚まで」「ネットワークベイビー」テレビ小説「君の名は」大河ドラマ「信長」「秀吉」土曜ドラマ

「いのちの事件簿」等がある

選定理由：ロケセットの輝度のない背景のなかでその条件を克服して一貫した調子にまとめている。しっかりした色調と明暗のバランスは素晴らしく作品に貢献している。

新人賞 産業教育記録映画部門

小さな魔女



寺田 博

昭和49年7月4日生
平成5年4月NHK制作技術照明に配属 現在に至る。
ドラマの経歴として朝ドラ「春よ来い」大河ドラマ「吉宗」「秀吉」「毛利元就」等がある。

選定理由：子供向け番組の人形劇であるがフラットに落ちいらず陰影感ただようその映像作りは子供のみならず大人の鑑賞にも満足感を与えるものです。新人としてのその照明技術は秀逸であり作品の完成度を高めることに大いに貢献したものと認めます。

審査委員特別賞 劇映画部門

愛する



島田忠昭

昭和12年10月5日生
昭和31年日活撮影所技術課照明係入社、46年退社しフリーとなるS51年TV「飢餓海峡」第1回技師担当、現在に至る。

主な作品 泥の河 オキナワの少年 蜚川 嵐が丘 ふたり等多数

選定理由：赤いマフラーに白いバラと爽やかな天女何時までも消えません。高度な照明設計は作品の完成度に大きく貢献し高く評価されました。

新人賞 劇映画部門

失楽園



小野 晃

昭和35年1月3日生
昭和56年NHK日本照明入社、昭和58年よりフリーとなり平成7年「ハル」で技師第1回作担当 失楽園が2作目である。

選定理由：大人のお伽話失楽園の映像美は緻密な照明設計のもと高度な照明技術により創り上げ多くを楽しませました。その照明技術は作品への貢献度大きく高い評価を受けられました。